

## 月井雄二国際会議参加促進支援金

### 報告書執筆時の留意点

令和 5 年 12 月 22 日 版

月井雄二国際会議参加促進支援金の支援採択者は、募集要項で示された書類（学会要旨集の写し、報告書、収支報告）を本会の事務局まで E-mail で提出しなければならない。提出の期日は、支援によって参加した学術集会の終了日から 1 ヶ月以内である。報告書は 1,000 字程度（もしくは英文 500 words 程度）として、下記の 3 点について具体的かつ明確に記述すること。

1) 会議に参加することで得られたもの

例: 非常に役立つ質問や提案を受けた場合、その簡潔な内容、同じような研究をしている研究者と知り合いになった場合、その研究者の氏名所属など。

2) 気づき

例: 自分の研究の長所や短所、新しい研究手法や技術などが得られた場合、それらの要点など。

3) 採択者の研究の将来におよぼされる影響

例: 勇気づけられた点、大家と知り合いになったこと、連携や協力が得られる知り合いができたこと、また、採択者の研究に役立つと思われた点など。

#### ※注意

報告書は日本原生生物学会の和文誌「原生生物」へ掲載されます。和文誌「原生生物」は広く公開されるため、採択者が進める研究ならびに知り得た他者の研究内容の守秘にも十分に留意し、報告書を作成してください。上にあげた内容について、その一部が採択者の研究の守秘すべきものに抵触するために記述できない場合は、報告書を提出する時にその旨を事務局へお知らせください。採択者が学生の場合は、報告書に記載された内容が差し障りの無いことを指導教員に確認してもらってください。